

名古屋事業所の 新事務所が完成 中長期的BCP考慮

玉造

玉造（本社＝大阪市北区、棚橋浩司社長）が行っていた名古屋事業所の新事務所建屋建設工事が完了し、6月中旬に新事務所が完成した。今回の工事は旧事務所の老朽化に対応したもので、従業員の安全確保を図るとともに、中長期的なBCPを考慮した。旧事務所は建設から



名古屋事業所の新事務所

50年近くが経過し、老朽化が目立っていた。同社は東南海地震や南海地震、さらには大型台風などで人的被害を避けるには新事務所建設が必要と判断した。具体的には玉川工場北工場棟を取り壊し、

この跡地に新事務所建設。建屋はS造の3階建て、延べ床面積は約1200平方メートル。6月中旬に新事務所での業務を開始した。1階は応接室、会議室、製造事務所、2階は営業事務所、CAD室、3階は食堂、更衣室と

なっている。同社の名古屋事業所は営業部・玉川工場、弥富流通センターの2カ所。玉川工場は今回の北工場棟取り壊しに